



心新たに

リ・スタート

施設長 鎌田智恵子

こんにちは。

日頃は社会福祉法人ゆたか会、やまゆりの里に対しまして格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、やまゆりの里は国の制度改正にともない、平成28年12月1日から、二つの施設に分かれました。と言っても、施設の建物等は何も変わりません。正面玄関より南側従来型の建物は「朽木小規模特別養護老人ホームやまゆりの里」30床で県の管轄、6床のショートステイ、朽木デイサービスセンター（地域密着型）、朽木ホームヘルパーステーション、朽木居宅介護支援事業所が併設しています。北側の増設の建物は「地域密着型小規模特別養護老人ホームやまゆりの里」20床（ユニット個室）は市の管轄となり、ショートステイ2床が併設しています。やまゆりの里として9事業、全職員60名体制で

平成29年度のスタートとなりました。

改正社会福祉法のもと

心新たに「やまゆりの里」として、ご利用者様、ご家族様にとって安心できる居場所、地域の皆様には気軽に足を運んでいただけ

「なんでも相談できる、聞きやすいところ」と頼っていただける施設をめざしています。地域に根ざした施設として、子どもさんから高齢者の方まで、誰にでも温かな場所でありたいと心から願っています。ぜひ、施設にお立ち寄りください。



事務所にて撮影



やまゆりの里 広報第1号 発行責任者 広報委員会



桜見物

花見ドライブ（車中から撮影）



朽木の桜もきれいに咲きました。あいにくの天気となり予定していた朽木中学校の生徒さんとお花見散歩にはいけませんでしたが、相談員・CMが天気の良い時間を見計らいドライブに出て下さいました。車中からの桜を見ながら「きれいに咲いている」と喜んでおられました。



安曇川沿いの桜並木

介護ロボット導入

「愛移乗くん」

高島市福祉空間設備事業の補助金を受け介護ロボットを導入しました。自立型支援型ロボット「愛移乗くん」。今まで二人介助を必要としていた場面で「愛移乗くん」を使うことで立ち上がりの補助などができ、利用者・職員の負担軽減につながると考えられます。介護ロボットを使う場面では、スタッフはもちろんのことですが、利用される利用者も慣れてもらう必要があります。安全に使えるように設計されていますが、人ではなく機械による動作となる為ポイントを押さえ信頼できるものであると認識してもらうことが重要です。今後の活用に向けてス

愛移乗くんの操作研修



タフ一同切磋琢磨していきます。

フリースペース

やまゆりの里 ぷらすONE

フリースペースとは地域の子どもが安心して過ごすことが出来る「夜の居場所づくり」です。地域の子どもが夕方に勉強したり、夕飯を食べたり、お風呂に入

異動職員紹介



フードサービス主任調理員 森田 正博

平成5年に入社して現在に至るまで、3度目のやまゆりの里担当させて頂いていただいています。ご利用者様の食事の満足度を向上させる取り組みを、日々の業務の中で色んなアイデアを浮かべながら美味しい食事、喜ばれる食事の提供に努めていきます。

つたりと安心して過ごせる場所、自分らしく居られる居場所として、やまゆりの里という場所を使って地域に貢献できればと考えています。生活様式が多様化していく中でこの活動が少しでもお役に立てるように頑張ります。

詳しくは下記まで
TEL 38-8030

やまゆりの里
担当・林・吉田

管理栄養士として初めての仕事になり、右も左もわからない状況ですので、利用者様とも職員の方とも関わりを持って取り組みたいと思います。様々なことを聞く事もあると思いますが、やまゆりの里の一員として頑張ります。



フードサービス管理栄養士 田藏 祐樹